

安行小の環境学習・活動の紹介

牛乳パック古紙リサイクル

菊次 哲也

川口市内有志の小学校が十年前に「牛乳パック・古紙回収」をスタートさせました。現在では川口市内十四校に広がっています。学校の牛乳パックと古紙を集めて、古紙回収業者に引き渡し、リサイクルされ、学校にトイレットペーパーとしてもどってくるという古紙リサイクルのしくみです。学校で子どもたちが集めた古紙がトイレットペーパーとなってもどってくるというところで、子どもたちは活動の手ごたえを感じることができます。

十年続いた古紙回収ですが、今年から、そのしくみが変わりました。古紙回収業者に引き渡してトイレットペーパーにリサイクルすることは変わりませんが、福祉施設の方々が学校の古紙を受けとり、古紙回収業者に渡します。資源リサイクルにとりくみながら障害者のみなさんの仕事を創りだします。



安行小学校は「社会福祉法人ごきげんらいぶ」のみなさんと協力しています。らいぶさんには古紙回収業者のような大きなトラックはなく、バンな

ので、一度にたくさん古紙をのせることができます。特にかさばるのは「給食の学乳パック」です。もう少し学乳パックをコンパクトにまとめられないか、環境委員会みんなで知恵を出し合って考えました。



2つのアイデアを考え実行しました。

①各クラスに学乳パックの回収箱を環境委員会の手作りで用意しました。学乳パック四十枚がちょうど入る大きさの木の箱をつくりました。各クラスで、この箱に入るようにそろえてもらうことにしました。

②集めた学乳パックを圧縮する、圧縮箱を作りました。

圧縮箱を使うと、安行小八五〇枚を超える学乳パックがとて小さくなります。

各クラスで洗い、乾燥させ、きれいに整理して集まった牛乳パックとリサイクルでもどってきたトイレットペーパーは安行小学校の小さな自慢です。

